

自然感

# くすのき

yumi



## 季節感

朝の間に さくら見て来て  
老にけり 巢兆

パッと咲いて、潔く散る...  
日本人の心情に良く合うのか、  
桜には特別な感情がある...

『ソメイヨシノ』

平成20年4月3日  
福岡市早良区室住団地  
大塚俊樹



## 熊海居人独言

# 25

[ 里山と史跡の保護 1 ]

史跡 = 歴史上、重大な事件にゆかりのある場所や施設などの跡。(広辞苑)  
「水城」 = 太宰府市と大野城市の境界付近にある土塁。「水城堤」と言う呼び方が一般的である。国の特別史跡に指定されている。日本書紀の記録に、天智天皇3年(西暦664年)「筑紫に、大堤を築きて水を貯えしむ。名けて水城と曰うふ。」とある。筑紫平野の南部に位置し、地形的には脊振山系の尾根が最も東部にせり出し、四王寺山の西端に一番近い部分で、平野が最も狭まっている所である。土塁の大きさは、東西に約1.2km、基底部の幅約80m、高さ約14mである。

土塁が建設された前年には、日本は「百済」救済のため朝鮮半島へ出兵した。百済は大和朝廷と友好関係にあったが、唐・新羅連合軍に攻められ、大和に救援を求めてきた。天皇自ら九州へ出陣し、大和水軍は糸島半島に集結して出陣し、半島中部西岸の白村江で唐・新羅連合水軍と一戦を交えたが破れ、那ノ津へ逃げ帰ってきた。このため、唐・新羅連合軍が日本へ攻めてくることを本気で心配した大和朝廷は、那ノ津にあった官家(みやけ)を現在の都府楼跡に移して「大宰府」と命名し、これを守るため「水城」を造営した。西暦664年のことである。

水城は築城後、「国を守る」という本来の目的を果たす事はなかったが、国家的大事業で造られたものであり、それが現在まで残されて昔の姿を現代人へ見せていることは、日本の歴史を偲ぶ国家的な建造物であると言える。「国指定特別史跡」とは、物で言えば「国宝」である。この国の宝が、今、崩壊しつつある。

水城は建造後どんな管理がされてきたかは不明であるが、江戸時代から1950年代までは、里山として利用されていたことが断片的に記録されている。しかし、里山の生活利用が無くなった現代、雑木林が生長しシイ・タブを中心とした照葉樹林へと遷移している。この大木化したシイノキなどが近年の台風で倒壊しだし根が堤を剥ぎ取っている。「国の宝が我々の時代に壊れてしまう」、大問題である。クマは、堤の植生を里山に戻すことを提案している。詳しくは次号へ。

## 観察会@海の中道海浜公園のお知らせ

- 日時：4月27日(日曜日)  
10:00~14:00
- 集合場所：JR・海の中道駅(次ページ地図参照)
- 集合時間：9:45
- 持参物：弁当・飲み物・その他  
公園内に食事場所がありますが、当日は混雑が予想されます。
- 主な視察場所：動物の森周辺、森の家周辺、  
ピオトープ付近、しおや岬付近の  
火山性地層など
- \*当日は、海浜公園動物の森チーフの高田真理子さんも案内役を務めてくれます。

kuma・冷川

## 事務局からのお知らせ

この、NAIS福岡会報『自然感くすのき』は、NAIS福岡ホームページにも毎月掲載しています。( <http://www.kurabird.com/> (自然案内舎(有)クラブードHP)のトップページ下方にある、「福岡県自然観察指導員連絡協議会」からお入り下さい。)

現在、この会報は、全会員に郵送しておりますが、もし、「ホームページの方で見ると、郵送分は必要が無い」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい(連絡先は、会報奥付をご覧ください)。順次対応させていただきます。

なお、この場合、郵送費用はホームページ維持費に充てますので、ご了承下さい。



~~~~この記事を読んで~~~~

2008.1.8  
天声人語

20年目に入った平成の世は、19年前のきょう始まった。あの日曜をたどりながら、東京都立川市の昭和記念公園を訪れた。落葉樹のケヤキやコブシはすっかり裸である▼地元画家、群馬直美さんの「葉っぱの詩」展が園内で開かれていた。原寸大に描いた木の葉の細密画は、朱や黄が差した色合い、枯れつぶり、髪ほどの葉脈、虫食いの小穴まで引き写す。写真を超えた生々しさである▼自称「葉画家」の群馬さん、葉へのこだわりは学生時代から四半世紀になる。どの一枚にも濃密な物語があるという。道端の落ち葉は大声で「親」の名を叫ぶそうだ。周りを見回し、空を見上げると、兄弟たちがヒラヒラ手を振っている。作品集『木の葉の美術館』（世界文

化社）の一節だ▼一本の木でも、葉の表情はすべて異なる。群馬さんは、このへみんな違う、みんな主役の状況に感嘆する。「私たちが一枚の木

の葉。ありのままの自分で輝きたしたら、地球は今よりずっと幸せそうなる。一本の木になるに違いありません」▼新緑の頃の差異は小さいが、虫に食われ、鳥につつかれ、雨風に打たれて、木の葉は個性を蓄える。散るときも別、そのあと、土に還る者、たき火で天に昇る者と「十枚十色」。一枚ずつ名前をつけてやりたくもなる▼昭和、平成。黙して時代を越えてきた樹木の営みに、切れ目なき命の流れを思う。冬の日、葉を落とした木々と小さな「葉画」に囲まれていると、生死の境が一瞬はやけた。生を終えても続きがあるような、ほっとする感覚だった。

この天声人語、その中身がすごく心惹かれたのでお知らせしたいのです。その内容は、「一本の木でも葉の表情は全て異なる。どの一枚にも濃密な物語がある。新緑の頃の差異は小さいが、虫に食われ、鳥につつかれ、雨風に打たれて、木の葉は個性を蓄える。散るときも別、「十枚十色」でいろんな土への還り方がある。」

この記事を読んで、一つ一つ頷きました。観察会のことを思い、自然の中、多様性ということにもその思いを巡らせました。今、満開の花達、桜を代表するソメイヨシノの花々にもひとつひとつ個性があるのだろう。今までは、同じ花がたくさんあって美しいと眺めていたのが、少し観察する目を変えなくては。こういう個性を見つける観察会もおもしろそうですね。その内、実行したい。 田字草

**日本野鳥の会福岡支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

4 / 20 (日) 5 / 18 (日)  
 天拝山探鳥会（筑紫野市）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：天拝山歴史自然公園  
 問合せ：092-920-7112（山本勝）

4 / 26 (土) 5 / 24 (土)  
 久末ダム探鳥会（福岡町）  
 時間：8:00～11:00  
 集合：久末ダム多目的広場横駐車場（管理事務所下）  
 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

5 / 4 (日)  
 今津探鳥会（福岡市西区）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：玄洋高校西側道路  
 問合せ：092-891-9005（神園道男）

5 / 10 (土)  
 大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：ポート乗り場前  
 092-573-1827（森健児）

5 / 11 (日)  
 和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：JR 和白駅前公園  
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

4 / 29 (火) 昭和の日 月例探鳥会  
 鴻巣山 町の中の里山で渡りの鳥をみよう  
 時間：10:00～12:00頃  
 集合：平尾霊園正面入口  
 交通：西鉄バス平和3丁目下車  
 問合せ：092-592-3423（小野仁）

**日本野鳥の会筑後支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

4 / 27 (日)  
 濃施山公園（みやま町）  
 時間：9:00～  
 集合：公園内すいせん橋  
 問合せ：0944-58-1672（野田）

**福岡植物友の会 主催**

4 / 20 (日)  
 目付山（大分県玖珠郡九重町）  
 ハルリンドウ・スミレ他  
 詳細は：092-947-6536（大吉博子）

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

5 / 10 (土)  
 三国の里山を歩こう！  
 時間：9:30～13時頃  
 集合：埋蔵文化財調査センター  
 駐車場  
 問合せ：092-920-3072（松永）

要：保険料  
 冊子完成打ち上げ参加者はお弁当をご用意ください。

エフコープさんの環境助成金で自然観察冊子ができあがりしました。冊子は観察会のたびに配布します。欲しい方は観察会にご参加ください。

**和白干潟を守る会 主催**

4 / 26 (土)  
 守る会定例会議  
 時間：10:30～12:30  
 集合：和白干潟を守る会事務所  
 問合せ：092-606-0012（山本広子）

4 / 26 (土)  
 クリーン作戦 と自然観察会  
 時間：15:00～17:00  
 集合：海の広場 駐車場なし  
 長靴・軍手があると便利  
 問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

**久留米の自然を守る会 主催**

4 / 29日(日) 第356 回例会  
 高良山樹木の名札付けとだご汁会  
 北周り遊歩道を歩きながら、樹木に木札で名前をつけていきます。昼食は森林公園でだご汁をいただきます。  
 時間：9:30～14:30  
 場所：御井小学校前  
 参加費：200円  
 問合せ：0942-46-8622（古賀）  
 持参：マイカップ、はし

**福岡市油山自然観察の森 主催**

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

4 / 20 (日)  
 春の森・自然かんさつハイキング  
 春の花が咲きそろい、昆虫たちが動き出した森を散策します。  
 時間：10:00～13:00  
 対象：一般  
 申込み：不要  
 定員：なし  
 雨天実施

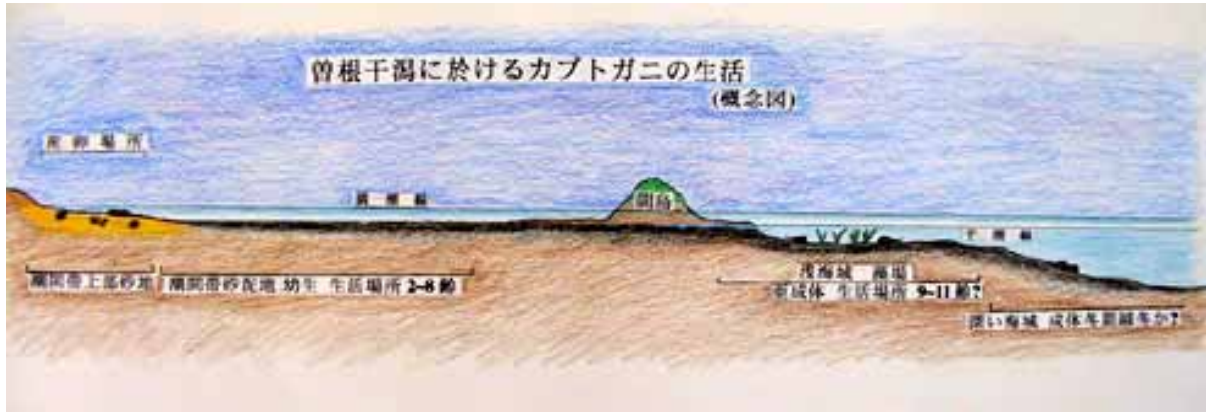
4 / 27 (日)  
 春の森でバードウォッチング  
 鳥たちのさえずりに春を感じながら森のバードウォッチングを楽しみます。  
 時間：10:00～13:00  
 対象：一般  
 申込み：不要・9時30分より受付  
 定員：なし  
 雨天実施

問合せ：油山自然観察センター  
 参加費：100円  
 〒811-1355  
 福岡市南区松原夫婦石 855-1  
 TEL：092-871-2112  
 開館 9:00～16:30（月曜休館）



## 第2回 「総合的な学習の時間」と 「曽根干潟のカブトガニの産卵を中心とした生活」

國廣 勝



### (2) 【カブトガニの生活場所】(海域と陸域の間、断面図説)

カブトガニは大潮の満潮時を中心に、砂浜の潮間帯上部付近に産卵します。約五十日後砂中で孵化した一齢幼生は、その年秋までに大潮の夜の満潮時から引き潮にかけて砂から這いだし、潮の流れに乗って干潟へ分散し、やがて脱皮して二齢幼生となるのです。そしてしばらくは広い泥質干潟で生活しながら、八~九回脱皮を繰り返して亜成体へと成長し、徐々に浅海域の藻場で生活を始めるようです。

雄が十五回、雌が十六回脱皮をくりかえし、繁殖可能になった成体は、さらに深みの海底に移動して生活しているらしく、冬期は海底で休眠しているのではないかとわれています。

### (3) 【朽網川河口産卵場】

写真は朽網川河口の産卵場を沖に向かって撮影したのですが、画面中央下に波打ち際に向かって、四角い長い石が半分沈みこんでいますが、それは写真右端の浅い水面下に見える、沖にのびた導流堤の上に重なっていたものが、台風の時の大波で左方向に倒されて移動したものです。



此处ではこの角地のちょうど長い石が沈み込んだ辺りの波打ち際の砂地に、いちばん産卵が集中するようです。ただ海が荒れたときは波の影響もいちばん受けるところで、卵にとっては決して条件の良い場所とは言えないのですが、なぜかカブトガ

ニもいちばん産卵に集まる所ですし、残念ながら周辺から流れつくゴミもいちばん集まる所です。

# 書籍の紹介



いのちかがやいて



## 和佐野喜代隆写真集

かつての繁栄を物語る修験の遺跡、多数の奇岩・峡谷を擁する複雑な地形、それらが相俟って福岡・大分県境に独特な威容を誇る英彦山——。この山に魅せられ通いつめた著者は、奥深い山中にいのちの輝きを求めて彷徨い、そして佇んだ。2007年4月、46歳で急逝。和佐野喜代隆が捉えた英彦山の四季。

和佐野清隆（わさの・きよたか） 1960年、福岡県朝倉市（旧甘木市）白鳥に生まれる。1978年、福岡県立朝倉農学校卒業。1980年、福岡県立農業試験場卒業。1984～85年、国際農業者交流協会に入り、米国カリフォルニア州で研修。その後、家業（有限会社白鳥園）の洋ラン生産・販売の仕事に続く。2007年4月16日、肝臓がんにて死去。1995年頃から写真を始め、身近な自然風景を中心に撮影、後に英彦山を中心テーマとする。1997年度「風景写真」フォトコンテスト・B部門年間最優秀作品賞を受賞

■ご注文は海鳥社【FAX 092 (771) 2546】へ  
取扱取次 ▶ トーハン/日販/大阪屋  
地方・小出版流通センター

▶ 2008年4月16日刊行 / 定価(本体2800円+税)

スクラ判 (245×250ミリ) 120ページ・フルカラー / 上製本

|     |                                                                                                         |      |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 注文書 | ひこさん<br><b>英彦山の四季</b> いのちかがやいて 和佐野清隆写真集<br>海鳥社刊 ● 定価(本体2800円+税)<br>ISBN978-4-87415-667-4                | ■注文数 |
|     | 海鳥社<br>〒810-0074 福岡市中央区大手門3-6-13<br>電話 092 (771) 0132 FAX092 (771) 2546<br>http://www.kaichosha-f.co.jp | 冊    |

事務局でもご注文を受付けます。若干の割引あり！

## お詫びと訂正

～くすのき第152号・5ページの記載について～

**誤**：本会会員である國廣勝氏が小学生と共に観察した成果が北九州市立自然史・歴史博物館自然史友の会発行の『わたしたちの自然史』100号に掲載されました。その成果を少しずつ紹介していきます。乞うご期待！

**正**：本会会員である國廣勝氏が小学生と共に観察し、北九州市立曾根東小学校の創立30周年祝賀会を記念して作成された

原稿の中からその成果を少しずつ紹介していきます。乞うご期待！ (2008年4月1日訂正)

北九州市立自然史・歴史博物館自然史友の会の担当者様より指摘を受け訂正致しました。  
関係者の方に大変ご迷惑を、お掛け致しましたことをお詫び致します。

### 事務局からのお知らせ

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。  
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

### 会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783 年会費：2000円

### 皆に知らせたいことはありませんか？

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

### 定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00～20:00ごろまで自然案内舎(南)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、2008年**5月9日(金)**午後6時より事務局で行います。5月号の原稿は、4/30(水)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

### 他団体の会報の紹介

日本野鳥の会筑後支部 まめわり第84号 2008年4月1日

福岡県青少年アンビシャス運動推進室 アンビシャス通信vol.41 Apr 2008

福岡植物友の会 会報 平成20年4月号

島根県自然観察指導員連絡協議会連絡誌 おとしぶみ vol.70 2008.3

Conte vol.10 福岡県NPO・ボランティアセンター 2008年3月



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会  
(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)  
代表：冷川昌彦 / 事務局長：小野 仁 /  
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子 / 会計：宮原俊彦  
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号  
ハイツ中村401  
自然案内舎(南)クラブ内 TEL & FAX: 092-400-1765  
URL: <http://www.kurabird.com/>  
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

### 編集後記

2008年3/14定例発送会は、大塚俊樹・辛島真由美・掛下尚一郎・田中健二・田村耕作が参加。冷川昌彦・藤川渡・山本勝から欠席の連絡。MKから自家製クッキー、TIから煎餅、SKからお菓子の差し入れあり。事務局移転後、初めての発送会でした。以前に比べて少し手狭ですが、能率よく作業完了。近くの田んぼでは冬鳥のツグミが採食中、上空には夏鳥のツバメが鳴きながら飛んでいました。

田字草

